

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 3 4 号
2 0 1 5 年 1 月 2 8 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「鳥飼車両基地の見学会」に関する申し入れ

1月23日のマスコミ報道によると、会社が2006年以降行っていなかった鳥飼車両基地の見学会の打診を、摂津市が断っていたことが明らかになった。

報道によると関西支社広報は「新幹線開通50周年記念事業の一環で、地元へ感謝の意を表すため、特別に企画した」と説明している。一方、市教育委員会は、これまで会社に対し「見学会」開催を要望してきたが、会社はその返答もしてこなかった。車両基地側から市内の小中学校に打診していたとしているが、市の教育委員会は「市教委を通さず、学校に直接コンタクトを取ったのも疑問だ」とコメントしているように、まずは自治体へ説明することが必要であった。しかし、摂津市教育委員会には打診を受けた小中学校側から連絡があっただけでその詳細も明らかにしていないという。「記念事業」だとしても急な会社の取り組み姿勢の変更と、連絡方法にも疑問を持ち、教育委員会が断ることも致し方ない事であると考えます。

2006年以降、会社が「見学会」を開催していなかった理由は「安全面などの問題」で中止していたとしている。しかし、今回開催するに至ったということだが「安全面」の確保に何かの変化があったのか疑問である。また、昨年末に労働組合の集会のために参加しようとした社員の人数を制限した理由の「安全面」とは矛盾があると言える。

よって、下記の通り申し入れるので早急に労使協議の場を設定されたい。

記

1. これまで行っていた鳥飼車両基地の見学会の目的は何か明らかにすること。
2. この間、見学会を中止していたのはいつからか。また中止していた理由を明らかにすること。
3. 今回の「見学会」を開催しようとした目的、理由は何か明らかにすること。
4. 車両基地側から、摂津市内の6つの小中学校に見学会の打診を行ったとのことであるが、いつ、どこの学校にどのように打診したのか具体的に明らかにすること。また、その責任者は誰か明らかにすること。
5. 「車両基地側から打診があった」とのJRのコメントであるが、関西支社、本社は「記念事業」に関係していないのか。明らかにすること。
6. 仮に「記念事業」であるなら隣接する茨木市、摂津市、吹田市の小中学校にも打診するべきであると考えます。会社の見解を明らかにすること。

7. 摂津市の教育委員会は「これまで要望を無視してきて一転しての唐突間が否めない。市教委を通さず、学校に直接コンタクトを取ったのも疑問だ」とコメントしているが、これまでの見学会は市教委に打診していたのか明らかにすること。
8. 学校に直接打診するだけで、摂津市自治体に説明せずに「記念事業」を開催しようとした根拠を明らかにすること。
9. 会社からの説明もなく学校から報告を受けた摂津市からは、どのような連絡があり、会社としてどのような対応をしたのか明らかにすること。
10. 見学会は摂津市と係争中となっている「鳥飼車両基地の井戸掘削」の問題で、市民、自治体の関係者との感情の問題になるとは考えないのか。会社の見解を明らかにすること。
11. 見学会を中止していた理由は「安全面」であるとのことであるが会社の見解を明らかにすること。仮に「安全面」ならその問題は克服したのか明らかにすること。
12. 昨年末、鳥飼車両基地内の会社施設内での労働組合の集会に参加するために申請した社員の参加人数を会社は「安全面」「セキュリティ」を理由に制限した。今回の見学会の「安全面」との関係で部外者を施設内に入れることには制限がないのか。会社の見解を明らかにすること。
13. 今後、見学会を開催する場合は、各学校に直接打診しているが、今後も関係自治体には説明しないのか。会社の見解を明らかにすること。
14. 小中学校の見学会は、子供たちのためにも是非、開催するべきであると言える。今後、関係自治体との関係を良好に保ち、毎年定期的に見学会を開催するべきである。会社の見解を明らかにすること。

以上